

都市再生の推進に係る有識者ボード 第2回MICE施設機能向上WG
議事概要

日時：平成25年2月7日（木）15：00～17：00

場所：永田町合同庁舎7階特別会議室

議事概要：

1. 開会
2. MICE施設機能向上WGにおける論点の整理について
3. MICE施設の現状等に関するプレゼンテーション
国際競争力向上・産業創出を担う「都心型MICE」
MICE施設の機能向上に向けて
4. 自由討議
5. 閉会

議事要旨：

<MICE施設の現状等に関する討議について 1 >

- MICEは、イベント産業の域を超えて、産業創出のために不可欠な都市機能の一部であり、社会インフラとして位置付けるべきである。
- 東京駅周辺の都心型施設及び臨海部の大規模型施設のほか、羽田空港と成田空港を結ぶ都市軸における中規模型施設の開発も期待できるのではないかな。
- MICE誘致やエリア全体での協力体制の構築等については、地域のエリアマネジメントの活用が効果的であり、公共空間を大胆に活用することも必要だと考えられる。その際の活動資金については、例えば、公共空間における営利活動を認めることや、BID等により財源を確保することなどが考えられないかな。
- 都心型施設のMICE施策については、絞り込んだ都心部の地域をMICE推進地域として指定し、特区等を活用した民間活動によるMICE施設整備を推進することが有効ではないかな。
- 大規模型施設はMICEを誘致するために必要であるが、展示施設だけで事業採算をとることは困難である。
- 海外では民間が大規模型施設を運営している事例はあるが、これは隣接するカジノやホテルなどの複合施設における収益を充てることにより成り立っているものである。

<MICE施設の現状等に関する討議について 2>

- 幕張メッセのような大規模型施設においては、運営に係るランニングコストは賄うことができるが、施設の拡充・強化や大規模改修など建設コストについては、資金確保が困難である。
- MICE施設としての魅力を向上させるため、鉄道やバスの交通アクセスの改善や、街の賑わいの創出に取り組んでいる。
- 会議室が不足していたことから、飲食店があったスペースに会議室を増設して、会議機能を強化するとともに、商談を伴うビジネスミーティングや産業見本市、補助制度を活用した国際会議の誘致などにも取り組んでいる。
- 東京ビッグサイトとの差別化を図るため、文化系のイベントや、公園などの周辺施設を活用した独自のイベントの開催にも力を入れている。
- 海外では、国策としてMICE施策を推進し、ハード面にも財政的な支援をしている。大規模型施設の整備や既存の施設の拡充・強化等を一自治体で推進することは困難であり、国家戦略としての推進が必要ではないか。
- 新たなMICE施設を整備するよりも、既存の施設を活用した機能強化の方が効果的ではないか。
- 幕張メッセはできてから二十年経って大規模な改修の実施が課題であり、Wi-Fiによる情報化など国の施策とリンクすることで費用負担を軽減できればありがたい。
- 日本にMICEを誘致するにあたっては、スポンサーがつくのかといった経済的な要因やMICE主催者との人的ネットワークの有無などのソフト的な要因も影響するものであり、このような側面からも国としてMICEを推進していく必要があると思われる。

<自由討議>

- このワーキングで検討すべきMICE施策の対象としては、大規模型、都心型施設を有する大都市圏である。大規模型施設については、公的な産業インフラとしての支援が必要ではないか。また、都心型施設については、これまでの都市再生施策における複合型の都市再開発による整備として位置づけられるのではないか。
- 日本には10万㎡規模の施設は整備されておらず、国際的な状況から考えると東京都市圏において大規模型施設は必要ではないか。
- 国際競争力の観点からいうと、MICE施設については、ある一定の規模が必要。選択と集中により、一定規模以上の施設を強化すべきではないか。
- MICE施設整備については、整備コストではなく、産業創出への投資と捉えるべきではないか。

- 大規模M I C E施設の整備については、資金調達などコストの問題があげられるが、P P Pの枠組みなどにより、公的施設として整備し、民間が運営するというモデルは成り立たないか。公的資金のみでの整備ではなく、民間資金の活用も重要である。
- M I C E施策を推進する意義はあり、公的関与が必要であると思われるが、現時点で大規模型施設がないため整備すべきと結論づけるには、データの分析・検討が十分ではないのではないか。
- M I C Eについて、正の外部経済があることは事実と思われるが、誘致した経験を蓄積したからといって、高い確率で誘致ができるようになるものではないと考える。そのリスクをどう考えるのか整理が必要ではないか。
- 既存施設を有効に活用するためには、都市圏としてM I C Eを受け入れて、それぞれの施設機能を相互補完することが必要であり、その際、異なる主体を調整する役割として、公的な関与が必要だと考えられる。
- バイエリアのコンベンションゾーンでは、既存施設の稼働率を上げることが重要であり、そのためには、鉄軌道等の交通アクセスの利便性をさらに高めることも必要ではないか。
- 必要となるM I C E施設の規模や中身について、議論するにあたり、M I C E施設に対してどのような需要があるのか、整理する必要がある。